

受験番号

◎ 指示があるまで開かないこと。

平成 25 年 2 月 19 日 午後用

第 64 回 獣医師国家試験 学説試験問題 (B)

注意事項

- 試験問題は、80 問であり、解答時間は 2 時間である。
- 解答方法は次のとおりである。

〔1〕 各問題には五つの答えがあるので、そのうち質問に適した答えを一つだけ選び、次の例にならって答案用紙にマークすること。なお、1問につき二つ以上解答した場合には、そのうちの一つが正答であっても誤りとして取り扱われる。

(例) 問81 日本国で獣医師国家試験事務を受け持っている省はどれか。

- 厚生労働省
- 文部科学省
- 農林水産省
- 外務省
- 国土交通省

正答は「3」であるから、答案用紙の

81 E 1 3 E 2 3 E 3 3 E 4 3 E 5 3 のうち E 3 3 を横線で、
81 E 1 3 E 2 3 E 3 E 4 3 E 5 3 とマークすれば良い。

〔2〕 答案の作成に当たっては、必ず HB の鉛筆を使用し、次の良い例のとおり、塗りつぶさずに線を引くこと。

良い例…… E — E 悪い例…… E V 3 E • 3 E / 3 E ~ E

〔3〕 答えを修正する場合は、必ずプラスチック製の消しゴムで完全に消し、消し跡が残らないようにすること。消し方が悪いと採点されないので注意すること。

〔4〕 答案用紙は、折り曲げたりメモやチェック等で汚したりしないよう特に注意すること。

問1 フロセミドの臨床適用として誤っているのはどれか。

1. 肝不全による腹水
2. うっ血性心不全による肺水腫
3. 運動後の労作性肺出血
4. 腫瘍性疾患に伴う高カルシウム血症
5. クッシング症候群に伴う低カリウム血症

問2 疾患とその治療薬の組合せとして正しいのはどれか。

疾患	治療薬
a 胃潰瘍	イブプロフェン
b 気管支喘息	テオフィリン
c てんかん	フェノバルビタール
d 重症筋無力症	スキサメトニウム
e 心室性頻脈	ジモルホラミン

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

問3 中毒物質とその中毒の治療薬の組合せとして正しいのはどれか。

中毒物質	治療薬
1. クマリン誘導体	チクロピジン
2. ヒ素	プラリドキシム
3. メタアルデヒド	ジアゼパム
4. パラチオン	ジメルカプロール
5. カルバリル	ピロカルピン

問4 心不全の治療薬に関する記述として適切なのはどれか。

- a ホスホジエステラーゼ阻害薬は細胞内cAMPを低下させる。
- b β アドレナリン作動薬は細胞内cAMPを増加させる。
- c アンギオテンシン変換酵素(ACE)阻害薬は心肥大を抑制する。
- d NOドナーは動脈を拡張するが静脈は拡張しない。
- e 強心配糖体は心筋細胞の $\text{Na}^+ - \text{K}^+$ ATPase活性を促進する。

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

問5 抗潰瘍薬に関する記述として正しいのはどれか。

- a ラニチジンは H_1 受容体を阻害する。
- b オメプラゾールはプロトンポンプを阻害する。
- c ミソプロストールは胃酸分泌を抑制する。
- d ケイ酸マグネシウムは被膜を形成して胃粘膜を保護する。
- e スクラルファートはペプシン促進作用を持つ。

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

問6 疾患とその特徴的肺病変の組合せとして誤っているのはどれか。

- | 疾患 | 肺病変 |
|-----------------------|----------------|
| 1. 牛RSウイルス病 | 間質性肺気腫 |
| 2. 豚繁殖・呼吸障害症候群 (PRRS) | 細胞質内封入体 |
| 3. 犬ジステンパー | 合胞性多核巨細胞 |
| 4. 豚流行性肺炎 (マイコプラズマ肺炎) | 気管支周囲リンパ装置過形成 |
| 5. ニューモシスチス・カリニ肺炎 | 肺胞腔内に好酸性泡沫物質貯留 |

問7 心臓病変に関する記述として正しいのはどれか。

- a 猫の肥大型心筋症では血栓症が高率にみられる。
- b 細菌感染による牛の心内膜炎は僧帽弁に好発する。
- c 小型犬の心内膜症は三尖弁に好発する。
- d 先天性横紋筋腫は牛に好発する。
- e 犬の血管肉腫は右心耳に好発する。

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

問8 脳炎に関する記述として正しいのはどれか。

- a 牛のリストリア症の病変は大脳に好発する。
- b 鶏脳脊髄炎では大型神経細胞の乏血性変化がみられる。
- c 牛のヒストフィルス・ソムニ感染症では脳に血栓形成がみられる。
- d パグ犬の壊死性髄膜脳炎の病変は大脳皮質に好発する。
- e 牛のネオスポラ症では化膿性脳脊髄炎がみられる。

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

問9 日本において、バイオセーフティーレベル（BSL）3の実験室で扱うべき病原体はどれか。

- a ボツリヌス菌
- b 日本脳炎ウイルス
- c 赤痢菌
- d SARS コロナウイルス
- e ブルセラ菌

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

問10 *Bacillus anthracis* に関する記述として正しいのはどれか。

1. 動物の体内でのみ増殖する。
2. ポリペプチドからなる莢膜を形成する。
3. ダニによる媒介で感染が成立する。
4. 感染が疑われる場合は直ちに剖検し診断する。
5. 患畜が死亡した場合は農林水産大臣に届け出る。

問11 *Staphylococcus aureus* が関与する疾患はどれか。

- a 牛の乳房炎
- b 鶏の浮腫性皮膚炎
- c 豚の滲出性表皮炎
- d 馬の腺疫
- e ミツバチのチョーク病

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

問12 豚丹毒に関する記述として適切なのはどれか。

- a 豚以外の動物にも感染する。
- b 家畜の法定伝染病に指定されている。
- c 原因菌が産生する皮膚壞死毒が蕁麻疹を起こす。
- d 皮内反応が診断として用いられる。
- e 予防にはワクチン接種が有効である。

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

問13 牛海綿状脳症（BSE）に関する記述として適切なのはどれか。

1. 媒介昆虫により伝播する。
2. 病原体に対する抗体が産生される。
3. PCRを診断に用いる。
4. 通常、潜伏期間は2年以上である。
5. 病原体はホルマリンで不活化される。

問14 腐蛆病に関する記述として誤っているのはどれか。

1. ミツバチの幼虫と蛹に感染する。
2. 予防にフルバリネット製剤を用いる。
3. 日本国内で発生がある。
4. アメリカ腐蛆病の原因菌は *Paenibacillus larvae* subsp. *larvae* である。
5. ヨーロッパ腐蛆病の原因菌は *Melissococcus plutonius* である。

問15 ウイルス性疾患と特徴的病態の組合せとして正しいのはどれか。

疾患名	特徴的病態
a 犬伝染性肝炎	肝線維症
b 猫伝染性腹膜炎	多発性化膿性肉芽腫
c 犬パルボウイルス感染症	出血性腸炎
d 猫カリシウイルス病	小脳形成不全
e 犬ジスティンパー	溶血性貧血

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

問16 レプトスピラ症に関する記述として適切なのはどれか。

- a ほとんどの哺乳類が自然宿主となる。
- b 感染動物では急性期にのみ菌を糞便中に排出する。
- c 菌分離にはハロルド培地を用いる。
- d 我が国では牛用のワクチンが予防用として使用されている。
- e 人の症例では黄疸、出血、結膜の充血、腎障害など多彩な症状を示す。

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

問17 反すう類の毛様線虫症に関する記述として最も適切なのはどれか。

- a 胃腸炎を起こす。
- b 通常は複数種の毛様線虫が混合感染する。
- c 第3期幼虫の経皮感染による皮膚炎が初期症状である。
- d プラジクアンテルが第1選択薬である。
- e 虫卵の鑑別により確定診断する。

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

問18 寄生虫症と検査法の組合せとして適切でないのはどれか。

- | 寄生虫症 | 検査法 |
|-------------|-------------|
| 1. 双口吸虫症 | 糞便の沈殿集卵法 |
| 2. ジアルジア症 | ノット集虫法 |
| 3. 日本海裂頭条虫症 | 糞便の直接塗抹法 |
| 4. アイメリシア症 | 糞便のショ糖遠心浮遊法 |
| 5. 鶏マラリア | 血液塗抹染色法 |

問19 牛乳の細菌数測定法（SPC法）で用いる培地はどれか。

1. 標準寒天培地
2. マッコンキー培地
3. デソキシコレート培地
4. 普通寒天培地
5. BGLB 培地

問20 腸管出血性大腸菌およびその感染症に関する記述として誤っているのはどれか。

1. 志賀毒素を產生する。
2. 牛の腸内容物が汚染源と考えられている。
3. 主な症状は嘔吐である。
4. 溶血性尿毒症症候群（HUS）を発症することがある。
5. 血清型として、O157、O111、O26などが分離されている。

問21 地球環境問題に関する条約とその説明の組合せとして誤っているのはどれか。

1. 京都議定書 ————— 地球温暖化防止
2. バーゼル条約 ————— 有害廃棄物の越境問題
3. ウィーン条約 ————— 絶滅危惧野生動物の国際取引規制
4. ストックホルム条約 ————— 残留性有機汚染物質の排出規制
5. モントリオール議定書 ————— オゾン層破壊防止

問22 水道水の水質基準項目として正しいのはどれか。

- a 全有機炭素
- b 濁度
- c 浮遊物質
- d 大腸菌群
- e BOD

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

問23 廃棄物に関する記述として正しいのはどれか。

- a 一般廃棄物の処理は都道府県知事の責務である。
- b 産業廃棄物の処理は都道府県知事の責務である。
- c 人のし尿は一般廃棄物である。
- d 畜産農家から排出される動物の糞尿は産業廃棄物である。
- e 事業者が排出する廃棄物は全て産業廃棄物である。

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

問24 感染動物の尿が感染源となる人獣共通感染症はどれか。

- a クリミア・コンゴ出血熱
- b ライム病
- c 日本紅斑熱
- d ハンタウイルス肺症候群
- e レプトスピラ症

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

問25 HACCPシステムの原則はどれか。

- a 危害分析の実施
- b 重要管理点の決定
- c 従事者の衛生教育
- d 事業所内の清掃の徹底
- e 製造工程一覧の現場での確認

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

問26 豚が関与する人獣共通感染症はどれか。

- a 日本脳炎
- b ニパウイルス感染症
- c リッサウイルス感染症
- d 黄熱
- e デング熱

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

問27 日本紅斑熱に関する記述として正しいのはどれか。

- a リケッチャが原因である。
- b 主にマダニが媒介する。
- c 発生は北海道に限局している。
- d ワクチンで予防可能である。
- e 病原巣としてはノウサギ類が重要である。

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

問28 疫学研究における交絡と交絡要因（因子）に関する記述として正しいのはどれか。

1. 交絡は疫学研究における偶然誤差の1つである。
2. 交絡要因は仮説要因と疾病発症との関係の観察には影響を与えない。
3. 交絡要因は仮説要因の暴露と疾病発症の中間過程である。
4. 重回帰分析など多変量の解析では交絡要因を制御することはできない。
5. 症例対照研究において交絡要因を制御する方法の1つがマッチングである。

問29 疾患とその主な感染経路の組合せとして正しいのはどれか。

疾患	主な感染経路
a A型肝炎	経口感染
b マールブルグ病	経胎盤感染
c 細菌性赤痢	飛沫核感染
d 狂犬病	接触感染
e 結核	飛沫感染

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

問30 切迫とさつが許されている疾患はどれか。

- a 蹄葉炎
- b 第四胃変位
- c 産褥麻痺
- d 急性鼓脹症
- e グラステタニー

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

問31 死亡率を評価する場合に年齢調整死亡率を使用する理由はどれか。

1. 2つ以上の集団を比べる場合に集団間の年齢構成の違いの影響を除くため。
2. ある集団の中で標準の年齢階級に発生した死亡数を推定するため。
3. 調査対象集団の年齢情報の欠落を補正するため。
4. 調査対象者が申告した年齢の誤りを修正するため。
5. 1つの集団の中で年齢階級別の死亡率を算出するため。

問32 環境汚染物質に関する記述として正しいのはどれか。

1. PCBなどの有機ハロゲン化合物は気温が高いと大気中の濃度が上昇する。
2. 有機水銀は微生物により脱メチル化され無機水銀となって生物に蓄積する。
3. ダイオキシン類で土壤が汚染されても加熱処理や酸処理により容易に分解される。
4. オクタノール／水分配係数が高い有機スズ化合物は生物濃縮されにくい。
5. クロロフルオロカーボン（フロン）は硫酸イオン（ SO_4^{2-} ）を遊離してオゾン層を破壊する。

問33 殺菌と消毒に関する記述として適当なのはどれか。

- a 殺菌に用いられる紫外線の波長領域は10～80 nmである。
- b クレゾールはフェノール系消毒剤である。
- c 次亜塩素酸ナトリウムから発生する塩素ガスは眼などに刺激性がある。
- d イソプロパノールは通常10%水溶液として消毒に用いられる。
- e ホルムアルデヒドは生体の消毒に用いられる。

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

問34 飼料ペレニアルライグラスに寄生したエンドファイトが產生して、これを摂食した動物に痙攣や起立不能を引き起こすマイコトキシンはどれか。

1. トリコテセン
2. フモニシン
3. ゼアラレノン
4. アフラトキシン
5. ロリトレム

問35 SPF 豚における「排除対象疾患」でないのはどれか。

1. オーエスキ一病
2. 豚赤痢
3. 豚パルボウイルス病
4. 萎縮性鼻炎
5. マイコプラズマ肺炎

問36 放牧牛に発生しやすい疾患はどれか。

- a 小型ピロプラズマ病
- b グラステタニー
- c 環境性乳房炎
- d ダウナー症候群
- e 産褥性血色素尿症

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

問37 放牧形態に関する記述として適当なのはどれか。

1. 混合放牧は雄牛と雌牛を同一牧野に放牧することである。
2. 後追い放牧は高泌乳牛を先に放牧することである。
3. 連続放牧は複数の牧草地を移動して放牧することである。
4. 輪換放牧は牧区を細分化し毎日移動することである。
5. 繁牧は林地の下草を利用する放牧である。

問38 飼料のエネルギー含量に関する記述として正しいのはどれか。

- a 飼料要求率は 1 kg の増体に必要とする飼料の量を表す。
- b 飼料効率 (%) は飼料摂取量 (kg) を増体量 (kg) で除して求める。
- c 可消化エネルギーは飼料摂取量に消化率を乗じて求める。
- d 可消化養分総量は可消化粗タンパク質と可消化粗脂肪の含量に消化率を乗じて求める。
- e 正味エネルギーは代謝エネルギーから熱増加を差し引いて求める。

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

問39 レンダリングに関する記述として誤っているのはどれか。

1. 工場は都道府県知事の許可を受けた化製場である。
2. 方法には乾式と湿式がある。
3. 肥料、飼料、洗剤などの原料となる動物油脂およびミールが生産される。
4. 市場において売れ残った肉類が原材料として多く使われている。
5. 病原微生物や寄生虫卵などを完全に死滅させる必要がある。

問40 ビタミンおよびビタミン様物質とその欠乏症の組合せとして最も適当なのはどれか。

- | ビタミン | 欠乏症 |
|-----------|--------|
| 1. ナイアシン | 脂肪肝 |
| 2. パントテン酸 | 多発性神経炎 |
| 3. 葉酸 | 貧血 |
| 4. ビオチン | 黒舌病 |
| 5. コリン | 痙攣 |

問41 ファロー四徴症で認められる異常として適当でないのはどれか。

1. 心室中隔欠損
2. 肺動脈狭窄
3. 大動脈騎乗
4. 右心肥大
5. 動脈管開存

問42 急性腎不全に特徴的な変化として適切なのはどれか。

1. 低カリウム血症
2. 高リン血症
3. 腎萎縮
4. 非再生性貧血
5. 重度の代謝性アルカローシス

問43 2ヵ月齢の猫が流涙と鼻汁を主訴に来院。同腹の猫も同様の症状を呈している。
最も疑われる病原体はどれか。

- a 猫ヘルペスウイルス 1
- b 猫カリシウイルス
- c 猫コロナウイルス
- d 猫パルボウイルス
- e 猫免疫不全ウイルス

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

問44 犬において球状赤血球を特徴とする貧血性疾患として最も適当なのはどれか。

- 1. 鉄欠乏性貧血
- 2. 慢性疾患に伴う貧血
- 3. 再生不良性貧血
- 4. 免疫介在性溶血性貧血
- 5. 赤芽球癆

問45 血友病Aで欠乏している血液凝固因子はどれか。

- 1. 第II因子
- 2. 第VII因子
- 3. 第VIII因子
- 4. 第IX因子
- 5. 第XI因子

問46 犬で内分泌性脱毛の原因となる疾患として適当でないのはどれか。

1. 副腎皮質機能亢進症
2. 上皮小体機能亢進症
3. 糖尿病
4. 甲状腺機能低下症
5. セルトリ細胞腫

問47 犬において誤嚥性肺炎を引き起こしやすい疾患として適当なのはどれか。

- a 軟口蓋過長症
- b 気管虚脱
- c 巨大食道症
- d 口蓋裂
- e 僧帽弁閉鎖不全症

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

問48 犬の膵外分泌不全症に関する記述として適当なのはどれか。

- a 旺盛な食欲に相反する進行性の削瘦を特徴とする。
- b 大部分の症例は急性膵炎に継発して発生する。
- c 膵臓外分泌腺房細胞が一部失われた段階で症状が発現する。
- d 大部分の症例は膵酵素剤の投与だけでは治癒しない。
- e 確定診断には血清トリプシン様免疫活性 (TLI) の測定が有用である。

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

問49 犬の毛に虫卵を付着させる外部寄生虫はどれか。

- a 斎癬虫
- b ハジラミ
- c ツメダニ
- d ノミ
- e 毛包虫

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

問50 犬の後天性重症筋無力症に関する記述として適切なのはどれか。

- a アセチルコリン受容体に対する自己抗体を原因とする。
- b 局所型、全身型、劇症型の3つに分類される。
- c 局所型では四肢の骨格筋のみに異常が現れる。
- d 劇症型では拡張型心筋症により死に至ることが多い。
- e 治療には長時間作用型のコリン作動薬を用いる。

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

問51 猫の甲状腺機能亢進症で認められることが多い臨床症状はどれか。

- a 肥満
- b 嘔吐
- c 多食
- d 便秘
- e 徐脈

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

問52 犬で高コレステロール血症を伴うことが多い疾患はどれか。

- a 腸リンパ管拡張症
- b 甲状腺機能亢進症
- c 先天性門脈体循環シャント
- d ネフローゼ症候群
- e 副腎皮質機能亢進症

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

問53 原発性副腎皮質機能低下症の犬で認められる異常として適当でないのはどれか。

- 1. 非再生性貧血
- 2. 血液尿素窒素 (BUN) の上昇
- 3. 低ナトリウム血症
- 4. 低カリウム血症
- 5. 低血糖

問54 X線像で見られる骨膜反応に関する記述として適当なのはどれか。

- 1. サンバースト型骨膜反応は骨肉腫で必ず見られる所見である。
- 2. コッドマン三角は悪性骨腫瘍の特異的所見である。
- 3. 悪性骨腫瘍に起因する骨膜反応は両肢に対称性に見られる。
- 4. 良性骨腫瘍でも骨膜反応が見られる。
- 5. 骨膜反応の所見から骨腫瘍と骨髄炎を容易に鑑別可能である。

問55 単純X線像上で肺血管陰影が明瞭に描出されることが多い疾患はどれか。

1. 肺水腫
2. 気胸
3. 副腎皮質機能低下症
4. びまん性間質性肺炎
5. 犬糸状虫症

問56 犬、猫における腸管内異物に関する記述として適当なのはどれか。

- a 完全閉塞が続くと腸管の壊死が生じことがある。
- b 小腸より大腸に異物が存在することが多い。
- c 可能な限り異物の直上を切開して摘出する。
- d 腸切開後は裂開防止のため最低3～4日間は絶食が必要である。
- e ひも状異物では多数の腸切開が必要となることがある。

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

問57 気管虚脱に関する記述として適当なのはどれか。

- a 必ず吸気時に虚脱の程度が強くなる。
- b 大型犬に多く大部分が先天性である。
- c 虚脱の程度の判定には気管支鏡検査が有用である。
- d 気管の内腔からの拡張または外側からの牽引が治療として有用である。
- e コルチコステロイド投与は禁忌である。

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

問58 犬の関節リウマチで一般的に認められる変化として適当なのはどれか。

- a 関節液の混濁
- b 関節液の粘稠性増加
- c 関節液中のリンパ球の增多
- d 非びらん性関節炎
- e 軟骨下骨の融解

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

問59 犬の前立腺癌に関する記述として適当なのはどれか。

- a 1歳齢までの去勢手術で予防可能である。
- b 局所浸潤性および遠隔転移性が高い。
- c 血尿や排尿困難を伴うことが多い。
- d 去勢手術により腫瘍が縮小することが多い。
- e 前立腺全摘出術で良好な経過をたどることが多い。

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

問60 犬の肘突起癒合不全に関する記述として適当なのはどれか。

- a 小型犬に発生が多い。
- b 大部分の症例で両側性に生じる。
- c 単純X線検査で確定診断を行うことは困難である。
- d 確定診断は20～24週齢以降に行うべきである。
- e 強固に内固定できなければ、肘突起は除去するべきである。

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

問61 犬の股関節脱臼に関する記述として適当なのはどれか。

1. 頭背側脱臼が最も多い。
2. 身体検査で大腿骨頭の変位が触知できる。
3. 治療には観血的整復が必須である。
4. 整復後は股関節の可動域の維持のため固定しない。
5. 外科的治療法としては骨盤3点骨切り術が一般的である。

問62 犬の大腿四頭筋の拘縮に関する記述として適当なのはどれか。

1. 大腿骨遠位骨折治療後の合併症として生じることが多い。
2. 股関節の長期固定が大きな要因となる。
3. 筋、骨、関節包の萎縮により生じる。
4. 膝関節の伸展障害が生じる。
5. 大部分の例でリハビリテーションにより十分な改善が得られる。

問63 犬や猫の橈骨骨幹部骨折に対して用いられない治療法はどれか。

1. プレート固定
2. 外固定
3. 創外固定
4. 海綿骨移植
5. インターロッキングネイル固定

問64 てんかんのある動物に使用する麻酔薬として適切でないのはどれか。

1. チオペンタール
2. プロポフォール
3. セボフルラン
4. ケタミン
5. イソフルラン

問65 牛の第一胃鼓脹症の原因として最も適当なのはどれか。

- a 食道内異物
- b 創傷性第二胃腹膜炎
- c イネ科牧草の過食
- d マイコトキシン中毒
- e 口内炎

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

問66 牛においてビタミンA欠乏により生じる疾患はどれか。

- a くわづ病
- b 夜盲症
- c 尿石症
- d 骨軟化症
- e グラステタニー

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

問67 牛の遺伝性バンド3欠損症の記述として適当なのはどれか。

- a ホルスタイン種乳牛で認められる。
- b 常染色体の劣性遺伝による。
- c 分娩後に症状を呈することが多い。
- d 発症牛では球状赤血球の出現を伴う貧血がみられる。
- e 予防法はヘテロ保因牛同士の交配を避けることである。

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

問68 牛のスイートクローバー中毒に関する記述として適当なのはどれか。

- a 血小板機能の異常が起こる。
- b 新鮮なスイートクローバーの多食が原因となる。
- c 第一胃鼓脹症が起こる。
- d 関節の強直や跛行がみられる。
- e 治療としてビタミン K₁ 製剤を投与する。

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

問69 牛で血尿が認められる疾患はどれか。

1. レプトスピラ症
2. バベシア症
3. タマネギ中毒
4. 白筋症
5. ワラビ中毒

問70 発育過程の若馬に好発する疾患はどれか。

- a 骨軟骨症
- b 浅指屈腱炎
- c 変形性関節症
- d 麻痺性筋色素尿症
- e 白筋症

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

問71 難産のため長時間の牽引により胎子を摘出した乳牛において、分娩後数日間以内に発症する可能性の高い疾患はどれか。

- a 子宮脱
- b 卵胞囊腫
- c 子宮ヘルニア
- d 子宮捻転
- e 胎盤停滞

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

問72 胎生期における中腎傍管の部分的形成不全によって生じる疾患はどれか。

1. ホワイトヘイファー病
2. フリーマーチン
3. 仮性半陰陽
4. 真性半陰陽
5. 重複外子宮口

問73 牛の子宮蓄膿症に関する記述として適切なのはどれか。

1. 機能性卵胞が多くみられる。
2. 頸管開放性のものが大部分を占める。
3. 通常左右の子宮角は不対称となる。
4. 妊娠との鑑別が重要である。
5. 治療には性腺刺激ホルモンを投与する。

問74 牛の分娩開口期（第1期）における胎子の正常な姿勢はどれか。

1. 上胎向—四肢伸張
2. 側胎向—四肢伸張
3. 上胎向—前肢または後肢の伸張
4. 下胎向—前肢または後肢の伸張
5. 側胎向—前肢または後肢の伸張

問75 実験動物の特性に関する記述として誤っているのはどれか。

1. ラットには胆嚢がない。
2. モルモットはビタミンCを合成できない。
3. フェレットはインフルエンザウイルスに対する感受性が高い。
4. マウスは乳歯から永久歯に生え変わる。
5. ゴールデンハムスターは低温環境で冬眠する。

問76 ラット唾液腺涙腺炎に関する記述として正しいのはどれか。

- a 原因病原体はコロナウイルス科に分類される。
- b マウスロタウイルスを用いて抗体検査ができる。
- c 粪便を介して経口的に感染する。
- d 致死率は高い。
- e 眼や鼻の周辺が赤くなる。

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

問77 マダイの白点病に関する記述として適切なのはどれか。

- 1. 病原体は鞭毛虫である。
- 2. 病原体の寄生部位は体表と腎臓である。
- 3. 水温 15°C 前後で発生する。
- 4. 病原体はコイにも感染する。
- 5. 生け簀の移動は有効な対策である。

問78 病原体がDNAウイルスである疾患はどれか。

- a ベニザケの伝染性造血器壊死症
- b ブリのウイルス性腹水症
- c ヒラメのリンホシスチス病
- d ヒメマスのOMV症
- e コイの春ウイルス血症

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

問79 病原体が甲殻類の疾患はどれか。

- a カリグス症
- b ベネデニア症
- c シュードダクチロギルス症
- d グルゲア症
- e アルグルス症 (チョウ症)

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

問80 淡水魚のみに疾患を引き起こす病原菌はどれか。

- 1. *Pseudomonas anguilliseptica*
- 2. *Vibrio anguillarum*
- 3. *Renibacterium salmoninarum*
- 4. *Tenacibaculum maritimum*
- 5. *Flavobacterium columnare*